



連町通信

安全で安心して暮らせるまちづくりをめざして

発行

釧路市連合町内会

〒085-8505 釧路市黒金町7丁目5番地
釧路市役所内

電話 0154-31-4255

直通電話・Fax 0154-23-2101



防災ワンデー2024 ～私たちの未来へつなげる防災と減災～

平成5年1月15日に発生した釧路沖地震の記憶を風化させないため、釧路市連合町内会を企画する実行委員会で「防災ワンデー」を開催しています。今年も1月14日（日）に観光国際交流センターを会場にして開催されました。

子どもと一緒に“防災”を考えました。

今年の防災ワンデーの企画は“子ども”に焦点を当てたものでした。

メイン会場では、(第1部) 子どもたちと一緒に防災ワークショップ「お子さまと一緒に防災の大切さを学びませんか?」、(第2部) 防災ミニ講演会「命を守る呼びかけの歩み」、(第3部) パネルディスカッション「防災教育は今」という3部構成で開催が行われました。特に現役の大学生がパネルディスカッションで討論に参加していただいたことで、「防災は今ここで終わる内容ではないテーマだ」と改めて感じたところです。



第1部の様子

となりの会場には“キッズエリア”設けられ、防災・減災を呼び掛ける関係機関のマスコットキャラクターが大集合して来場する子供たちを出迎えました。

“キッズエリア”では、段ボール迷路など楽しい体験がで、マスコットキャラクターがお出迎え、来場した子どもたちはスタンプラリーカードを手にそれぞれのコーナーを楽しんでいました。



人気のあった防災段ボール迷路

幼い心にもしっかりと防災意識が定着して欲しいですね。

～能登半島地震～

1月1日に発生した能登半島地震でお亡くなりになった方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆さんにお見舞い申し上げます。そして、被災地の一日も早い復興をお祈りします。

釧路市連合町内会では、被災された能登半島の皆さんへの義援金協力を町内会の皆さんに呼び掛けています。

義援金は市役所内にある日本赤十字社釧路市地区に届けることとしておりますが、振込をご希望の場合は次の口座をご利用ください。

【郵便局】「日赤令和6年能登半島地震災害義援金」
口座番号「00150-7-325411」

【銀行】みずほ銀行クヌギ支店 普通預金 0620669
口座名義 日本赤十字社（ニホンセキジュウジヤ）

“いざ”に備えましょう！

市民の多くの方には釧路沖地震の記憶が残っていると思います。強い揺れや倒れる箆笥などに恐怖を感じたのではないのでしょうか。しかし既に31年が経ち、時間が経験者の記憶を風化させています。またこの地震を知らない若い住民も増えてきました。そこで連町をはじめ関係機関・団体で防災ワンデーの開催に取り組んでいます。

ところで、皆さんはいざという時に自らの身を守る対策を講じていますか？ 能登半島地震について、今は避難生活のあれこれが話題になっていますが、災害時に最初の一撃を避け、避難所まで避難できることがまず大事です。箆笥が倒れてくるところに寝ないようにする（又は家具の転倒防止策を講じる）などもその一つです。心構え一つでできることが多くあります。日頃から災害に備えましょう。

楽しく新年交礼会を行いました。

令和6年 釧路市連合町内会 新年交礼会

コロナ禍のため4年ぶりとなる新年交礼会を1月19日（金）に釧路センチュリーキャッスルホテルで行いました。

黒木会長から「令和6年は楽しい町内会づくりに向け進もう」と新年の辞で町内会にエールが送られました。ご来賓の秋里副市長、畑中市議会議長からのご祝辞に続き、町内会活動の発展を祈念して「鏡開き」を行いました。



釧路市社会福祉協議会土井会長の乾杯の音頭で始められた宴の中では、参加者全員に景品が当たる大抽選会が行われ、景品を手にした参加者は笑顔がいっぱいでした。



景品をご提供いただいた事業所様をご紹介します。（順不同でのご紹介です）

(有)清華堂様、釧路コールマイン(株)様、(株)近海食品様、(株)マルサ笹谷商店様、(株)マルア阿部商店様、(株)釧路新聞社様、大栄フーズ(株)様、釧路市水産加工業協同組合様、釧路センチュリーキャッスルホテル様、藤田印刷(株)様、福司酒造(株)様、(株)ムロマチ様、(株)北海道ジャパンサポート様、(株)アシスト様、(株)山一佐藤紙店様、中川設備工業様、キリンビールマーケティング(株)北海道支社様、(株)いちい青果様、(有)ラジカルモータース様



＝ 「全市一斉清掃（4月21日(日)）」にご協力をお願いします ＝

4月の第3日曜日に「春の全市一斉清掃」を設定しています。今年もご自宅の周辺はもとより、通学路、公園、公共の場の清掃にご協力をお願いします。

○ 専用の袋で収集～可燃ごみの収集日に排出場所へ！

一斉清掃で集めたごみは、町内会に配付される『環境美化活動用ごみ袋』、『ボランティア袋』または『一斉清掃』と表示した透明（半透明可）の袋に入れて、可燃ごみの収集日に、可燃ごみと同じ場所に出して下さい。空き缶、ペットボトルなども拾われることと思いますが、上記の袋には分別することなく入れていただいてOKです。

※『環境美化活動用ごみ袋』と『ボランティア袋』は、一斉清掃日以外でも町内会の清掃活動に使えます。ただし、町内会のレクリエーションや、家庭から出るごみには使用できません。

※ごみ処理施設に自己搬入する場合は処理手数料がかかります。



○ 不法投棄廃棄物は収集しないで連絡を！

処理困難物、粗大ごみなどの不法投棄廃棄物を発見した場合は、回収せずに環境事業課（電話 31-4551 平日のみ）へご連絡ください。後日現地確認します。

なお自転車については盗難品の可能性がありますので、動かさずに警察署か交番へご連絡下さい。

○ 土砂の扱いは・・・

側溝等の土砂については、事前に道路維持事業所（電話 24-3322 平日のみ）に清掃予定日・場所等を伝え、収集を依頼して下さい。ただし、土砂が少量（持ち運べる程度）の場合は、丈夫な袋に入れ『清掃ごみ』と表示して、可燃ごみの収集日に可燃ごみと同じ場所に出して下さい。

○ 刈草・木の枝・落ち葉の出し方は・・・

① 刈草や落ち葉は、透明か半透明の袋に入れて下さい。

② 刈草の根は、土を落として出して下さい。

③ 剪定した木の枝は、長さ50cm以内にして紐で束ねて下さい。

④ 名前を書いて可燃ごみの収集日に、可燃ごみの排出場所に出して下さい。1回につき、3袋（束）程度をお願いします。



井須ドクターの診察室

第10回



釧路労災病院
脳神経外科部長
井須豊彦

手、足のしびれ痛み治療を志して40年が経ちました。どんな名医でも、手術後に頻度は少ないですが不都合な症状が新たに出現して、辛い思いを経験したことがあるはず。外科医は手術合併症（手術後にみられる避けられない併発症）と判断しても、患者さんは手術ミスと認識して、医療トラブルに発展することもありません。経験を積み重ねるほど、外科手術の腕は上がりますが、年をとればと

るほど、医療トラブルに敏感になります。患者さんは自信ありげに「私に任せれば大丈夫です」と言う言葉、態度に弱いもので、私のように手術合併症を強調する外科医は嫌われます。

最近、私は術者に優しい手術法を積極的に行っていきます。腰部脊柱狭窄症に対する手術法としては、腰椎後方除圧術や金属固定術（全身麻酔下の手術）が行われていますが、椎弓や黄色靭帯の切除を行わず、神経を露出しない腰椎制動術（局所麻酔下の手術）は安全な手術法であり、外科医、患者さん双方にストレスがなく、術者に優しい理想的な手術法であると確信しています。ただ、最先端治療を目指す外科医や最先端治療を希望する患者さんにはとんでもない、非常識な手術法だと思われるかも知れません。私は「年をとった外科医にしか、腰椎制動術の良さがわからない」と心の中でひそかに思っています。

腰部脊柱管狭窄症の最新低侵襲手術

～腰椎棘突起間にインプラントを挿入し、伸展を局所的に制限する「腰椎制動術」～

「腰椎制動術」は、腰椎棘突起間にインプラントを挿入することで、椎骨の伸展を局所的に制限し症状を改善させる新しい手術で、従来の手術に比べて低侵襲で良好な治療成績をあげている。2年前から腰椎制動術を実施している釧路労災病院の井須豊彦脳神経外科部長・末梢神経外科センター長に解説をお願いした。・・・

雑誌「ケア」(2023年11月号)より引用

団体活動事例紹介

～防災、街づくりも多様な人材活用を～

釧路市女性団体連絡協議会 会長 平間 育子

地震大国日本ですが、よりによって1月1日から震度7とは、絶句！！

地震津波がいつ来るか分からない釧路にとっても他人事ではありません。

釧路市女性団体連絡協議会では、この10年来“女性の視点による防災”を取り組んで来ました。これは、阪神・淡路大地震から東日本大震災等、常に反省として上げられて来ているのが、女性の声が届きにくいという事です。また、性被害もかなり後になってからポツリ、ポツリと出て来ます。女性が声をあげやすい避難所運営が非常に重要となります。

避難所運営は、基本は地区住民とされています。その際先頭に立つのはやはり町内会の会長が多くなる傾向があり、現実として女性が少なくなります。防災に力を入れている釧路市にあつては、防災の観点からも多様な人材・男女がともに声を出せるように日常の活動から取り組

んで欲しいと思います。日常できないことは非常時にはもっとできないそうです。常に多様な人材が声を出し合えることは、街づくりにも通用します。

当協議会は、子を生み育てやすい街づくりを標榜し、男女共に支えあい創りあげていく社会になれるよう釧路市男女平等参画センター“ふらっと”の指定管理者としても活動しています。

願うのは釧路市の元気です。町内会の皆さん、今後ともどうぞよろしくお付き合いください。

《指定管理受託施設“ふらっと”の紹介(MO03階)》

- イベント：女性目線での各種イベント実施
- 貸会議室：4室（12～40人）、一般貸出も可
- 相談：女性のための総合相談、女性のための法律相談（無料・予約制）
- 問合せ先：65-1034 (FAX)65-1356
- E-mail: furatto946@m01.namara-e-net.com

- | | |
|---------------------------------|-------------------------------|
| 1. 元気で働き、明るく豊かなまちをつくりましょう。 | 1. 人にやさしく、心ふれあう温かいまちをつくりましょう。 |
| 1. きまりを守り、安全で安心な住みよいまちをつくりましょう。 | 1. 文化を高め、命を尊ぶ平和なまちをつくりましょう。 |
| 1. 緑を育て、自然豊かなきれいなまちをつくりましょう。 | 1. 郷土を愛し、世界に誇れるまちをつくりましょう。 |

みんなでつくろう ゴミのないまち きれいなふるさと

行事参加や各種提出書類のお願い

年度当初に次の報告・申請をお願いします。
(町内会長宛に詳しい案内を届けています)

- ①広報紙コンクール 申込締切り 4月5日(金)
- ②組織現況調査 町内会総会后速やかに!
- ③春の一斉清掃 4月21日(日)
- ④市長・連町表彰 推薦締切り 4月19日(金)
- ⑤町内会活動保険 申込締切り 5月7日(火)

植樹ます等における草花の植栽について

市道の植樹ます等に草花の植栽を希望する個人、団体は毎年届け出が必要です。草花の植栽には一定の条件がありますので、詳しくは下記にお問い合わせください。

問 市道路河川課管理担当 (31-4558)

町内会資料作成のお手伝い

PC操作が苦手なために町内会の総会資料を手書きで作成している場合には、連町事務局でPCに打ち込む作業のお手伝いをします。作業には一定の時間を要しますので、ご希望の場合は早めに事務局にご相談ください。

加入促進用ポケットティッシュ、回覧板バインダー、会費納入表のご利用を!

町内会加入啓発用のポケットティッシュをご希望の町内会に提供します。春先の加入促進にご利用ください。

また、回覧板バインダーや「町内会費納入表」(1-12月用、4-3月用)を用意しています。ご希望の町内会は事務局でお受け取り下さい。(持ち帰る袋等をご持参ください)



↑ポケットティッシュに入っているミニチラシ



↑回覧板バインダー

※事務局へのお問い合わせは午前9時から午後5時までの時間でお願ひします。

今日・明日
明治23年(1890年) 消防の先駆けである「釧路消防組」の創設から今年で134年を迎え、社会情勢に応じ消防団組織も変革して参りました。
現在、釧路市消防団は18個分団が組織され、各分団長を中心にそれぞれの地域の防災体制を築く一役を担っております。



消防団と町内会の連携について
釧路市消防団 団長 佐々木 孝良

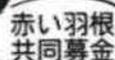
今年の元日に発生した能登半島地震では震度7を記録し、家屋の倒壊、広範囲な火災発生、津波による浸水と多くの方が被害に見舞われました。やはり日頃から消防団と地域住民が催等の活動を通じて地域が一体となつて、安全で災害に強いコミュニティづくりが今後も重要であることに変わりはありません。
また、消防後援会組織の各分会は地域町内会と深く関わりがあり、皆様との連携を深め、地域防災力の強化に努めて参る所存であります。
今後とも消防団活動にご理解とご協力をお願いいたします。

一体となった防災体制を普段から作り上げておくことが、災害時においていかに重要であるかが改めて認識されたところであります。
町内会、自主防災組織と消防団との連携による伝統行事やイベント等の開

により消防団を側面から応援していただいております。釧路市家庭防災推進員連絡協議会は、「家庭から火事を出さない」をモットーに、町内会等から推薦された約400名が市長から委嘱を受け、日頃の家庭防災を担っていただき感謝申し上げます。
消防団といたしましては、これからの地域住民の方々の信頼と負託に答えられる様に、町内会の皆様とさらに連携を深め、地域防災力の強化に努めて参る所存であります。

主な行事予定

- 4月6~15日 春の全国交通安全運動
 - 4月21日(日) 春の全市一斉清掃
 - 5月18日(土) 市連町定期総会
- ※次回の連町通信は、4月24日発行です。



連町通信は、赤い羽根共同募金の支援を受けて発行しています。